中野区区民交通実態調査について

1 調査の目的

移動制約者が安心して移動できるまちづくりをめざし、そのしくみづくりと運営をサポートする交通システムを構築するための基礎調査として交通実態調査を実施する。

2 調査事項

- (1) 現状の交通行動パターンの把握
 - (2) 現状の公共交通の課題把握
 - (3) 交通機関に対する要望
- 詳細は、別紙のとおり

3 調査設計

- (1) 調査地域 中野区全域
- (2) 調査対象 中野区内に住む満 20 歳以上の男女個人
- (3) 標本数 2,000 人

4 調査期間

平成 19 年 12 月 3 日 (月) ~ 平成 19 年 12 月 28 日 (金)

5 調査方法

調査員による訪問配布、訪問回収法

6 今後の予定

報告書作成、結果報告

平成 20 年 3 月

(別紙)

中野区区民交通実態調査 - 調査項目

調査目的	調査項目
現状の行動パターンの把握	<ul style="list-style-type: none">・ 属性（住所、年齢、性別）・ 目的地・ 頻度・ 行動時間帯・ 移動手段・ 所要時間
現状の公共交通の課題把握	バスを利用せずに外出した場合の理由 <ul style="list-style-type: none">・ バス停まで遠い・ 目的地まで行くバスがない・ バスの本数が少ない・ 予定の時刻にバスがない 等
	適切な交通機関がないので、外出をあきらめた場合の理由 <ul style="list-style-type: none">・ バス停まで遠い・ 最寄のバス停まで移動しづらい・ 目的地まで行くバスがない・ バスの本数が少ない・ 予定の時刻にバスがない 等・ 移動に介護を要する・ 料金が高等
交通機関に対する要望	公共交通に求めるサービス水準 <ul style="list-style-type: none">・ 運行頻度・ 許容待ち時間・ バス停等までの距離・ 料金